学校番号	219

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地歴科	科目	地理 B	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	「地理 B」　（東京書籍）						
副教材等	「新詳地理資料 COMPLETE2018」　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地理的空間概念の育成をはかります。
・地理的事象に「なぜ」の視点を持ってください。
・自然環境と、人間の生活･文化との関わりに関心を持ってください。

2　学習の到達目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見出し、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	時事問題へのアプローチ 活動観察(ノート、発表) 学習の振り返り	ワークシートによる作業 活動観察(発表) 論述課題 学習の振り返り	ワークシートによる資料読み取り 活動観察(発表) 学習の振り返り	定期考査 映像からの課題発見

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代世界の系統地理的考察	(ウ)人口・都市・村落 ③村落と都市 ④都市・居住問題 (エ)生活文化・民族・宗教 ①生活文化 ②民族・宗教・言語 ③民族問題・宗教問題 ④領土問題	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ 	 ○ ○ ○	a:言語や宗教の地域的展開を捉え、文化の均質化を克服することや多文化共生への取り組みに理解を深めることができる。 b:都市の分布と大都市圏の形成過程を考察し、都市システムの階層性が理解できる。実在の都市の状況を踏まえながら、都市の成長・衰退・再生の観点から諸資料を通して都市問題を考察できる。 c:村落の地形図や写真を観察し、その成立条件や機能を理解できる。 d:民族と文化の多様性について具体的事例に沿って理解し、国民国家やエスニシティとの関係性について考察できる。	時事問題へのアプローチ 活動観察(ノート、発表) 学習の振り返り ワークシートによる作業 論述課題 ワークシートによる資料読み取り 定期考査 映像からの課題発見
	現代世界の地誌的考察	(ア)現代世界の地域区分	○	○	○	○	a:現代世界の地域区分について、関心が持てている。 b:白地図に自分で地域区分を書き込むことができる。 c:地域区分法としての等質地域と機能地域との違いについて理解できる。 d:静態的地誌と動態的地誌の考察方法の相違点が理解できる。	時事問題へのアプローチ 活動観察(ノート、発表) 学習の振り返り ワークシートによる作業 論述課題 ワークシートによる資料読み取り 定期考査 映像からの課題発見

2学期	現代世界の地誌的考察	(イ)現代世界の諸地域 ①東アジア ②東南アジアと南アジア ③西アジアと中央アジア ④アフリカ ⑤ヨーロッパ ⑥ロシア ⑦北アメリカ	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:各地域の時間的変化、地域的集散の様相について、諸資料から地図化することで視覚的に把握し、説明することができる。 b:アフリカの経済的な課題について、人口問題や資源エネルギー問題とのかかわりの中で考えることができる。 c:各地域の時間的変化、地域的集散の様相について、諸資料から地図化することで視覚的に把握し、説明することができる。 d:各地域の自然条件、社会条件を踏まえて、地域的特色を理解することができる。ヨーロッパの統合について、その展望と課題を理解できる。	時事問題へのアプローチ 活動観察(ノート、発表) 学習の振り返り ワークシートによる作業 論述課題 ワークシートによる資料読み取り 定期考査 映像からの課題発見
3学期	現代世界の地誌的考察	(イ)現代世界の諸地域 ⑧中南アメリカ ⑨オセアニア (ウ)現代世界と日本	 ○ ○ ○	 ○	 ○	 ○ ○ 	a:各地域の時間的変化、地域的集散の様相について、諸資料から地図化することで視覚的に把握し、説明することができる。中南米、オセアニアの産業のうち、一次産業のみならず二次産業の興隆について関心をもつことができる。 b:グローバル化が進む世界の中で日本の役割について考察することができる。 c:日本と世界の関わりについて、地理的条件から読み取ることができる。 d: 各地域の自然条件、社会条件を踏まえて、地域的特色を理解することができる	時事問題へのアプローチ 活動観察(ノート、発表) 学習の振り返り ワークシートによる作業 論述課題 ワークシートによる資料読み取り 定期考査 映像からの課題発見

(備考)　２年生の地理Ｂと合わせて４単位履修。